

一関工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	美術
科目基礎情報						
科目番号	0054		科目区分		一般 / 必修	
授業形態	実技		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年		2	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材	高校生の美術 1、W A T C H (貸出)					
担当教員	金 春花					
到達目標						
創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための忍耐を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養う。鑑賞を通し作品の良さ、美しさを感じ、それぞれの個性を発見する。 【教育目標】 B						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		創造的な作品制作を通して豊かな感性を育て、創造する喜びを味わうとともに、ものづくりのための忍耐を養う。また、自己の意図、心情を表現するため、表現方法の基礎能力を養う。鑑賞を通し作品の良さ、美しさを感じ、それぞれの個性を発見する。				
授業の進め方・方法		美術の幅広い創造活動を通じ基礎的な造形力を養う。作品制作を主とし、基本的内容を踏まえ、より良い作品にするために繰り返し工夫する。毎時間の積み重ね、取り組みを大切にする。授業内での完成を目指し、未完成の作品は受け付けない。鑑賞の際は指定されたレポートを提出すること。				
注意点		授業の内容は課題毎ごとに授業内で告知する。道具の取り扱い方を理解し、準備、後片付け等、丁寧に行われていたか。 【事前学習】 授業開始前に取り扱う画材や道具を準備しておく。 【評価方法・評価基準】 課題 1 0 0 % (出席、授業態度含む) で評価する。詳細は課題ごとに授業で告知する。完成作品の提出状況、時間内にやるべきことをこなし、積み重ねていくことを評価する。授業内での完成を目指し、未完成の作品は受け付けられない。総合成績 6 0 点以上を単位修得とする。				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	美術オリエンテーション			

		11週	④ 3 原色を用いた着彩のためのスケッチ、デッサン、 下描き	対象をよく観察し、効果的な構図をとることができたか。
		12週	⑤ 3 原色を用いた着彩 透明水彩	道具の取り扱い方、透明水彩の特性を理解できたか。
		13週	⑥ 3 原色を用いた着彩 透明水彩	道具の取り扱い方、透明水彩の特性を理解できたか。
		14週	⑦ 3 原色を用いた着彩 透明水彩 背景 完成	背景を効果的に仕上げることが出来たか。
		15週	⑧透明水彩 鑑賞 まとめ	自己と他の作品を鑑賞し、それぞれの良さを感じ取れたか。これまでの学習を振りかえる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	制作（出席、態度含む）	作品（レポート含む）	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0